

お客様各位

NetIQ(株)Attachmate 事業部

Reflection for Secure IT UNIX 7.1 SP2 リリースノート

この度 Reflection for Secure IT (RSIT) UNIX 7.1 SP2 (Service Pack 2) を国内リリースする運びとなりました。以下 その内容と入手方法につきましてご案内申し上げます。

記

1. 対象製品

- 1) Reflection for Secure IT UNIX サーバ バージョン 7.1
- 2) Reflection for Secure IT UNIX クライアント バージョン 7.1

2. 7.1 SP1 からの主な変更点

- ・7.1 SP2 では、設定オプションの追加と不具合対策を実施致しました。

2.1 設定オプションの追加

- (1) "Smart Copy 機能"と"中断点再開機能"の有効/無効指定を追加しました。
 - a) sshd2_config : ① SmartFileTransfer にて同時指定
 - b) ssh2_config : ① SmartFileCopy と ② CheckpointResume により個々に指定
- (2) PAM による account 管理と session 管理を、session type である "shell", "exec"、または "subsystem" を別個に設定可能とするオプションを sshd2_config に追加しました。
 - ① PamServiceNameForInternalProcesses
 - ② PamServiceNameForSubsystems
- (3) Proxy Command というクライアント拡張機能の指定を ssh2_config に追加しました。
 - ① ProxyCommand

2.2 不具合対策内容

- (A) RSIT UNIX サーバ/ RSIT UNIX クライアント 両製品が対象
 - 1) リモートサーバが RSIT 6.1 SPx 以前 でかつアクセス先ディレクトリのパーミッションが 355 or 311 の時に、scp アクセスで エラーメッセージ"Can't get cwd" で失敗する問題
 - 2) リード権限のないディレクトリの下のファイルを sftp "ls -l (絶対パスでファイル名指定)" コマンドで表示できない問題
 - 3) Perl script を使い ssh リモートコマンドを組立て発行する時に引数にスペースが含まれると、スペースの前に"¥¥"を付けてしまい、ssh リモートコマンドがエラーとなる問題
 - 4) auto モードで sftp 実行時に、拡張子に関係なく ASCII モードで転送してしまう問題
 - 5) 10 GB 以上のファイル転送で Smart Copy 機能が働くと、scp, sftp 又はサーバ側 sshd の処理にて 無限ループに陥る問題
- (B) RSIT UNIX サーバ 製品が対象
 - 6) Red Hat Linux において、PAM 認証成功時に認証試行回数カウンタをリセットしない問題
 - 7) Smart Copy 機能にて転送処理をスキップ時に、対象ファイルのタイムスタンプが更新されない問題
 - 8) FIPS モードにて SSH サーバを稼働時に、クライアントからの接続のたびに syslog にエラーログを記録してしまう問題
 - 9) authorization ファイル内の記述において、Key ファイルに対する 複数キーワード Options 指定 allow-from= を正しく認識できない問題

- 10) Red Hat Linux において、sshd サービス停止時に、/var/log/messages に不正なメッセージを残す問題。（OS 再起動時に /var/log/boot.log に同一不正メッセージを出力）
 - ① RHEL 5 の場合：“fatal Received signal 15; terminating.”
 - ② RHEL 4 の場合：“-p 停止 failed”
- 11) Red Hat Linux において、sshd サービス開始時に、/var/log/messages 記録が不正な問題
- 12) AIX において、PAM による Account Management 結果が、ユーザ認証時に正しく反映されない問題
注記：AIX 6.1, 5.3 において、7.1 SP2 に更新時は、ユーザ認証方式に関係なく下記(a) (b) いずれかのデフォルトからの設定変更が必要になります。
 - (a) PAM 構成ファイル /etc/pam.conf に Account Management 項目として下記を追記する。
“ssh account required pam_aix”
 - (b) sshd2_config “AccountManager”の設定を “password”に変更する。
“AccountManagement=password”
- 13) scp -r にて 多段ディレクトリを上書きコピー時に、“failed”/“Failure”のログを記録する問題
- 14) Solaris 10 (SPARC) において、OS 起動時に sshd が自動起動しない問題

3. 入手方法

A) ボリュームライセンス (VPA) 保守契約のお客様：

- ・弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトにログインし入手します。

<手順>

1) 弊社「Attachmate ダウンロードライブラリ」サイトへアクセス：

- i) 直接 URL <<https://download.attachmate.jp/Login.aspx>> を入力頂く か、
- ii) Attachmate 日本語ホームページ(<http://www.attachmate.jp/>) > [サポート]
> [ダウンロードライブラリ] とブラウザ頂く

2) 「Attachmate ダウンロードライブラリを使用」ページ内にて、お手元控えの “ユーザ名” と “パスワード” を使いログイン：

3) 表示「保守の内容」ページ内の対象製品の “ダウンロード” をクリック：

4) 表示「Reflection for Secure IT UNIX Server」又は「Reflection for Secure IT UNIX Client」一覧で “ファイル名” をクリック：

“Current Product Release” は バージョン 7.1 を示し、その下にある “Service Pack or Patch” の一覧が 今回リリースした バージョン 7.1 SP2 の一覧になります。

バージョン欄で 7.1+SP2 (7.1.2.26) であることを確認し、説明欄に示す該当プラットフォームの “ファイル名” をクリックし次ページに進みます。

5) 表示「ファイル情報とダウンロード」内容を確認しダウンロード操作：

下部枠内の “輸出規制を含むソフトウェアライセンス使用許諾契約に合意します” をチェックの上、“ダウンロード:” ファイルをクリックしダウンロードを開始します。

B) シングルパッケージ購入のお客様：

- ・下記弊社お問合せ先までメール連絡をお願いします。個別に対応させていただきます。

j-info@attachmate.com

尚、ご連絡の際は、お客様ご使用のプラットフォーム種を連絡下さい。

以上